

笑顔かがやく光っ子

みんなで育てる光っ子

学校便り

第284号
平成23年7月1日

練馬区立光が丘第八小学校
校長 鈴木 隆志

大人になってもできるように

校長 鈴木 隆志

5月から6月にかけて、各学年、学級の遠足、移動教室が予定通り実施されました。わかば学級は東京大仏・赤塚城趾公園への遠足でした。新入生、転入生も一緒に楽しく過ごすことができました。6年生は2泊3日の軽井沢移動教室でした。友達同士の絆を深め、成長を実感できた3日間でした。2・3年生は光が丘公園です。3年生がリーダーシップを発揮し、仲良く異学年交流ができました。1年生は光が丘公園から四季の香・春の風・夏の雲の公園巡りをしました。とても楽しかったです。4・5年生は田柄川緑道を歩いて城北公園まで行きました。優しさと元気あふれる子供たちでした。こうした行事を通して、光っ子たちは様々なルールを学び、心を育て、体を鍛え、大人になっても生きてはたらく力を身に付けていきます。今年の遠足も、大変有意義なものとなりました。

◆安全・安心な学校づくりを目指して

6月8日は、8人の児童の命が奪われた大阪教育大学附属池田小学校事件から10年の日でした。亡くなった児童を追悼する集いが行われましたが、悲しみは消えることはありません。

6月11日は東日本大震災から3ヶ月の日でした。未だに、行方不明者の搜索、復旧復興の作業、避難生活が続いています。全校児童108人のうち68人が亡くなり、6人が行方不明になっている宮城県石巻市立大川小学校でも、がれきを処理する重機の音が響く中、冥福を祈る姿がありました。

光八小では、安全・安心な学校づくりを進めるため、不審者対応マニュアルや防災計画の見直し、携帯電話版ホームページや一斉配信メールシステムの構築、門扉の施錠、名札携帯の励行、防犯機器の点検、不審者対応訓練や避難訓練、引き取り訓練の実施等に取り組んでいます。

危機管理の「さしすせそ」は「最悪の事態を考えて・慎重に・素早く・誠実に・組織的に」です。光っ子たちにとって安全で安心して過ごせる学校として、学校体制をしっかりと整えてまいります。また、次代を担う光っ子たち自身が安全・安心の意識をもった大人になるように、育てていきます。

6月25日の引き取り訓練の際には、御協力ありがとうございました。前日には一斉配信メールのテスト配信も行いました。現在のところ、登録していただいた保護者の方は、全児童の54%です。より多くの御家庭で、登録をしていただきますようお願いいたします。

◆「MOTTAINAI（もったいない）」の気持ちで

本校では、昨年夏と比較して-18%、一日あたり100kWhの「節電行動計画」を立てています。本格的な夏を迎え、気温も室温も上がってきます。節電も大事ですが、何よりも光っ子たちの学習や生活に支障のないようにしていくことが大切です。「もったいない」の気持ちで、無駄な電力を消費しないような節電行動を進めてまいります。光っ子たちにも、地球や環境のことを考えて行動できる大人になってほしいと願っています。

残念なことです。節電対策の一環として、今年の夏はいくつかの地域行事が中止となりました。むつみ台団地の地区祭（夏祭り）、田柄婦人会盆踊り、ゆりの木通り北の夏祭りが実施されません。みんなで我慢をしなければならない夏なのだと思います。その中で、愛宕神社（田柄2-17-11）の「金魚市」が例年通り7月24日（日）に実施されます。「金魚市」は田柄用水が引かれた明治初期から続く年中行事です。当時、夏の金魚はあまり長生きできず、この金魚に厄を負ってもらう身代わり厄除けの意味と、魚に水がつきもので火事を出さない縁起物の意味があるといわれています。縁日の屋台も立ちますので、光っ子たちにも楽しみな一日となるのではないのでしょうか。